



# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1925号

会長	鈴木洋子	会長エレクト	辻 彰彦	事務所	大和市大和南2丁目1番1号
副会長	岸 幸博	幹 事	石川達男		大和中央ビル 301
会報委員会	新村千成		藤塚勝明		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
	板垣克浩		小倉一道		E-mail : naka-office@ynrc.jp
例会場	きらぼし銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)		梅田秀雄		URL : http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

ROTARY : BE THE INSPIRATION

「インスピレーションになろう」

RI会長 バリー・ラシン

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「未来への足がかりを創ろう」

【本日のプログラム】 10月14日 「地区大会」会場 茅ヶ崎市民文化会館  
 【次回予告】 10月25日 第2回クラブ協議会 「地区大会を振り返って」 会長・幹事

【第1919例会】平成30年10月11日(木) 【司会SAA】 梅田 秀雄 君  
 【斉唱】「奉仕の理想」 【ソングリーダー】 中村 友彦 君  
 【ゲスト】片柳 義春 様

## 会長の時間 鈴木 洋子 会長

現在のように、テレビ・パソコンやゲーム機がなかった時代の大人を含めて、子どもたちの楽しみは祭りではなかったでしょうか。

ひな祭りに始まり、本日の歌の秋の豊作を祝つての「村祭」等。私事ですが、小学校の頃、神社のお祭りに行き、ヨーヨー釣りや金魚すくいをしたこと、そして釣った金魚を家に持ち帰り、容器に入れて飼つたのはいいのですが、どういう訳なのか、いつも数日で死んでしまうことが多く、そのたびに、母親から金魚すくいは良いけれど、金魚を持ち帰ると怒られていたことを思い出します。そのせいか金魚すくいが嫌いになりました。いつのころだったか思い出ませんが、結婚してから子どもがお祭りで、金魚すくいをしたとき、持って帰ると言うとうとうどういう訳か自然に自分が母親に言われたことと同じことを言っていました。「すぐ死んでしまうから、かわいそうだから持って帰らないで」と。

ゲーム等に歓びを見出している現在の子どもたちは、歌の中にあるドンドン ヒャララ ドンヒャララの音



が聞こえてきたら、ワクワクするのでしょうか。何とか祭、何とかフェスティバルと、一年中どこかで祭らしきものをしていて、私は少し食傷気味ですが、でも時にはウキウキし、出かけて行くのも事実です。やはり日本人なのかなと思ったりしますが、人類問わず世界中の人が祭り好きだと思います。

今月は、「米山月間」、「経済と地域社会の発展月間」です。ロータリーの友10月号に掲載されていますが、「経済と地域社会の発展」、分野の目的と目標のところ、ロータリー財団が以下のような形で、持続可能で測定可能な長期間的改善提を地域社会の人々の暮らしにもたらすために、人々に投資する事を可能にします。

1. 貧しい地域社会の経済発展を促すための、起業家、地域社会のリーダー、地元団体、地域社会ネットワークの能力の向上
2. 生産性の高い仕事の機会の創出
3. 支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減
4. 経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援

と書かれています。世界各地の活動紹介の一例に、インド・ジャムシエドプルウエストRCの例として、家族を養わなければならない少女・女性を対象に、食

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 12名(敬称略)
37名	23名	65.71%	71.43%	5名	原嶋、橋本(吉)、池澤、石川(達)、板垣、川名、岸、苗加、小倉、玉川、富澤、梅野

品加工、服飾仕立て、コンピュータースキル、起業等の職業研修を実施しました。このような活動を行うにあたり、ロータリー財団のグローバル補助金を申請することができますと、書かれています。11月はロータリー財団月間でもありますので、また詳しくお話を聞く機会があると思います。

世界中の子どもたち、また大人も、祭りに心躍らされる世の中になると良いといいですね。

本日の歌（唱歌）

「村祭」



### 委員会報告

【お祝いの方々】

親睦活動委員会 中村 友彦 委員

会員誕生日	北砂 明彦 君	10月18日
配偶者誕生日	石田 いみ子 夫人	10月15日
	梅田 安代 夫人	10月24日
結婚記念日	梅田 秀雄 君	10月24日
創業記念日	石川 健次 君	10月18日
入会記念日	入江 公敏 君	10月13日
	藤塚 勝明 君	10月16日

### クラブフォーラム

「市民が創るCSA農場となないろ畑農学校」



農業生産法人  
なないろ畑 代表  
片柳 義春 様



なないろ畑のモットー  
皆で育てて、皆で食べる！  
人は土から離れてはいけない  
生活の中に「農」の営みを  
そこから得られるモノは？  
安全で美味しい食べ物  
農作業で肉体的・精神的健康

## 瀕死の日本農業

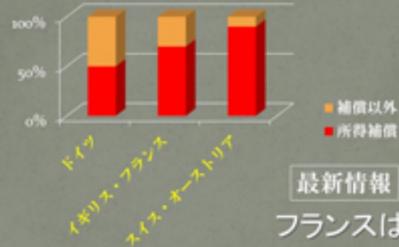
荒廃農地の激増 高齢化  
 有機農業は微々たるもの



## 元気なヨーロッパ ・ロシアの農業

荒廃農地無し 有機農業拡大

## ヨーロッパの農業政策を学ぶべき 直接所得補償



最新情報  
フランスは95%

農業は国の基本という徹底した理念  
 特に有機農業を保護・推奨している

## 日本国内では？ 国内版アンフェアトレード

### 他の産業と農業との格差

「スロー」、「ロハス」という言葉が流行るが……。  
 美味しい有機野菜を生産している現場は……。  
 現場はポロポロだ！

+

## 福島原発事故の放射能

## 出荷場テラス 野菜の出荷作業



火・木・土の午前中は、みんなで出荷作業  
 最低賃金で換算すると年間300万円に相当

## 私たちは何故CSAに行き着いたのか？ 食べていけない

民間サラリーマンの1/3以下の所得  
 ↓  
 後継者がいない

農家の平均年齢66歳を超えた！

## ボランティアが調製作業と出荷作業を担う

ホウレン草の栽培 約330労働時間(10a)	
栽培	収穫～調製～出荷 約300労働時間
農場の有給スタッフ	会員(=消費者)

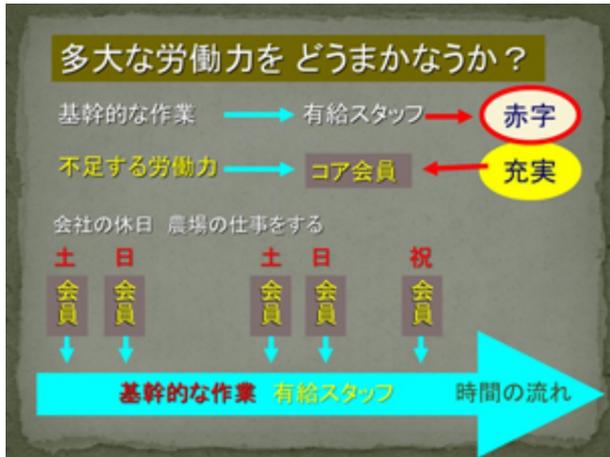
民間サラリーマンの給与 年407万円	約1/3
無償のボランティア	農業所得
お爺さん・お婆さん・奥さん・子ども達の労働	野菜を食べる人=消費者
野菜を食べる人=国民	ヨーロッパの考え方

ヨーロッパ諸国 国家が農業者の所得を補償  
 グーグル・アースでフランスの地方都市を観る

## ただの産直にならないための方策



地域通貨を利用する  
 出荷場をカフェにする



**実験農場として**

「ピンチ」は「チャンス」です。  
 なないろ畑は15年以上にわたって  
 試行錯誤の繰り返しでした。  
 これからもドンドン進化して行くと思います。  
 失敗を恐れず、夢や妄想を馬鹿にせず、  
 実験をやり続けて行きたいです。

**以上**



CSAの進化型 **なないろ畑のこれらの目標**

**パッチワークのような農場**  
 作目ごとにチーム化  
 会員が野菜を育てる

**「イワンの馬鹿」化**  
 農場で労働義務化 最低8時間/月  
 農作業＝肉体的・精神的な健康

**エコビレッジ 伊那谷の古民家と山林田畑**  
 田舎体験。「会員さんの別荘」と避難場所  
 高原野菜の生産、漬け物の加工、山菜の出荷  
 エネルギー自給 薪・小水力発電



**スマイルボックス 入江 公敏 委員長 本日 ¥9,000 累計 ¥240,682**

鈴木 洋子 会長  
 片柳様、本日の卓話楽しみにしております。いろいろお教えてください。

藤塚 勝明 君  
 入会記念のお祝いをありがとうございます。

梅田 秀雄 君  
 結婚記念日と女房の誕生日を同時に祝っていただき、ありがとうございます。女房の誕生日に式を挙げましたので。

石川 健次 君  
 創業記念日のお祝いありがとうございます。来年からはいらないかな。

橋本 日吉 君  
 片柳義春様、本日は大変お忙しい中、卓話にお

出でいただき、ありがとうございます。楽しみにしております。

北砂 明彦 君  
 誕生日、ありがとうございます。56歳になります。民間の年金支給が開始されました。片柳様、本日はよろしく願いいたします。

新村 千成 君  
 片柳様、ようこそお越しいただきました。本日の卓話よろしく願いいたします。

石田 卓也 君  
 妻の誕生日のお祝い、ありがとうございます。

入江 公敏 君  
 入会記念のお祝いありがとうございます。